

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 8月 5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473600371		
法人名	社会福祉法人 三篠会		
事業所名	グループホーム甲田		
所在地	広島県安芸高田市甲田町下小原3363番地 (電話) 0826-45-7777		
自己評価作成日	令和元年7月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473600371-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473600371-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年7月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりがその人らしさを活かせるよう、その思いに寄り添い、ご利用者やご家族の希望をお聞きし、落ち着いて楽しい生活が送れるよう支援している。また、グループホーム内だけでなく、地域の方々とも交流し、結びつきを深め、地域住民の一人として役割を獲得し、メリハリのある生活を送れるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウス、ショートステイ等とともに、母体法人が運営する高齢者総合福祉施設の中の一つとして、人員をはじめ車や厨房などの設備の活用、地域住民との交流等で一体的な運営が行われている。  
事業所を含む敷地内には、地域住民が気軽に訪れ運動や交流ができるスペースや、祭りや防災などの活動において地域住民と共に実施するなど、地域とのつながりが深い。さらに、幹線道路やJRの駅からも近いため、面会者も訪れやすい立地にある。  
利用者と地域とのつながりが強いことで、職員や地域住民と共に運営していく方針を実践している事業所である。

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、部署目標に基づき利用者処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。またミーティングや申し送り時に必ず確認するようにしている。	法人の理念や考え方を冊子にまとめ、職員一人ひとりに配布しており、法人内研修でも使用している。理念をもとに、施設目標、部署目標、個人目標と段階的に設定し、個人目標は上司との定期的な面談により目標の確認や振り返り等を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には職員と一緒に参加している。春には施設主導のさくら祭りを開催し、地域の方にもご協力いただくことで地域の方との交流の場として開放している。また、夏や秋に地域の祭りがあり参加していただき利用者様と地域の方と交流を持てるよう配慮している。その他、法人内の保育園や近隣の保育園から交流会という形で交流を図っている。	併設の地域交流スペースで地域住民が運動や集会を行ったり、近隣の公民館の力を事業所が預り地域住民の利便性を確保している。また、併設のグラウンドで行う盆踊りなどの行事や、地域振興会にも加入し地域役員と共に地域を盛り上げる活動を行うなど、事業所自体が地域の一員として日常的に交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、全利用者様に参加をしていただいております。地域の方との会話の中で理解を得ている。地域の民生委員や振興会役員の方にも参加していただくことで情報交換を行っている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年4回定期的に開催している。前回会議からの3か月間の出来事などを報告し、今後のサービス向上のために意見交換をしている。	運営推進会議には、利用者をはじめ地域の役員や市役所職員、地域包括支援センター職員など多くの参加があり、事業所内の活動について幅広く意見交換をしている。その結果、自然に地域と行事を共に行う流れが構築できている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議を通じて事業所の実績やサービスの取組み等定期的に情報交換を行っており連携、質の向上に努めている。	市とは運営推進会議などの場を通じて情報交換を行っているほか、会議の場を利用して市から地域住民への制度の説明がなされるなど、行政の取組みを地域や利用者家族へ知ってもらう等、行政との協力関係を築く取組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・玄関の施錠は行っていない。</p>	<p>事業所を含め施設全体で身体拘束予防のための研修を行っているほか、徘徊を行う利用者には声掛けでの対応や、センサー等も活用している。実際に身体拘束をしているケースはなく、事業所玄関の施錠も行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段より職員が虐待について勉強し、個々の意識を高め、利用者様が安心して生活できるよう心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。又必要な方には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明、納得の上同意を得ている。また、サービス内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場でも説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議だけでなく家族会などを定期的開催することで、利用者様ご家族からの意見を伺えるように機会を設けている。 また、要望や苦情受付の連絡先を掲示している。</p>	<p>苦情を含め利用者や家族からの意見を職員が聞き取り、施設全体で対策を行う「ハートBOX」という仕組みを取り入れており、施設全体で対応を検討し実施している。また、日常の利用者との会話の中からドライブや外出などの希望を聞きだし、事業所の行事に取り入れるなど運営に反映を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時対応している。	職員面談や施設長の巡回などで現場からの意見を聞き取り、可能なものはその場で反映させている。また、月1回のミーティングで問題点を職員同士で話し合い意見を上司に上げているほか、職員の個別面談等の場で意見や提案を聞く機会を作っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、法人全体としてノーリフティングケアを推奨し、腰痛予防に努める等、職員が働きやすい環境を目指している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外への研修参加の機会を設けており業務改善に努めている。新人職員については、OJTによる育成も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用開始前に本人と家族・職員を含めた事前面接を行い、要望や不安な点等を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲みとり納得していただけるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用開始前の事前面接を通して、本人・ご家族と話し合いの場を設けることで不安を取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き思いを知る努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に添えるよう努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	毎日の生活において、本人の生活歴を通し、個人個人に合った役割や得意な分野を見出すことで、それぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族会や運営推進会議を定期的で開催することで利用者様の近況報告を行っている。外出等に関しては、家族の理解を得ながら関係を保っている。また、定期的なカンファレンスに家族を招き、利用者様の現状報告を行うことで、一緒に今後の生活を考えていただく機会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	施設関係者以外の来園に対しての受け入れを行っている。また、地域の祭りへの参加や施設内での祭りなどの行事にも地域の方に参加していただくことで馴染みのある方との交流を支援している。	事業所には近隣から入居し利用している方も多く、近隣住民の面会があるほか、地域の祭りなどの行事への参加を行っている。また、近隣の公民館で毎週女性会がお店を出しており、そこに参加することで馴染みの関係を構築し、人間関係が途切れない支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>日々の生活や行事、外出を通して交流を持ち、仲間としての意識や関わりを持つ機会が持てるよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了後も退所後の受け入れ先等の相談や調整を行っている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の生活において、本人の希望や意向を把握するために関わりを持つことで、本人への理解を深め、本人に合った生活環境の提供ができるよう検討している。</p>	<p>日頃から利用者の意見の聞き取りを行うことで、外出などの行事に結び付けたり、ケアプラン上で「生まれた場所に行ってみる」という目標を立て、本人の心理的な安定に結び付けている。また、お花見や季節の行事なども、利用者の意見を反映するなど、本人本位に検討がなされている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人やご家族との面談を通して、これまでの生活歴やサービス利用歴などの把握を行うようにしている。しかし、核家族化によって連絡が取りづらい、キーパーソンが利用者様のこれまでの経過を知らない等の現状もあり情報不足の点もある。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>個人個人の票を作成し、生活面での注意点・趣味・パーソナリティの把握に努め、情報の共有を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員の意見や、気づきなどを日々記録し、ご家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプランを日々の介護記録用紙に記載しており、日々ケアプランが実行されたかチェックできるようになっている。その結果、現場からの意見をもとにケアプランの修正や見直しが行われ、現状に即した計画の作成に結びついている。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個々の生活状況を記録している。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存のサービスに捉われないことなく、本人の状態の変化などにも合わせた、個々のニーズに対応する柔軟なサービス提供を心掛けている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加したり、地域の方との交流会を持ち、利用者様が生き生きと生活していただけるよう支援に努めている。</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診診断</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様・ご家族の希望を重視し、適切な医療機関に受診していただけるよう支援している。</p>	<p>近隣の医師が訪問診療に定期的に来ているほか、併設特別養護老人ホームの嘱託医も診療を行っている。また、家族の意向を踏まえ、専門医や従来からのかかりつけ医への受診も、事業所から医師に情報提供を行うなど、家族の協力のもとで実施できるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の状態を確認し報告している。服薬や日々の健康管理に気を配り連携を図っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	随時、病院関係者と連携を行っている。また、退院調整や退院前カンファレンスなどを相談員中心に行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医の指示のもと本人、ご家族、職員とで話し合いを行っている。	利用者の身体状況等をふまえ、家族を交えた話し合いを随時行っている。事業所での看取りを行うケースはないが、併設の特別養護老人ホームへの転所を話し合ったり、施設全体で重度化した場合の対応を行うなどチームで支援に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けをするよう心掛けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練を実施しており、小原地域の自主防災訓練にも参加している。	昼間想定と夜間想定避難訓練を年2回実施している。また、施設全体として地域と防災協定を結んでおり、3日分の食料の備蓄をしているほか、水害を想定した防災訓練を地域と共に行うなど、地域との協力体制のもと、災害対策を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないように配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。	プライバシーに配慮し、利用者のファイルを目に付くところに置かないようにし書庫に収めている。また、職員と利用者との会話でなれ合い言葉にならないように注意し合っており、必要に応じてミーティングで伝達を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人自ら行動し、意思決定できるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせた暮らしが送れるよう、その人らしい生活の支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃれを出来るだけ提供するよう心掛け支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては、利用者様に嗜好調査を実施している。食事の準備や後片付けはお手伝いいただきながら一緒に関わりを持っている。その他、利用者様の嚥下状態に合わせて、食形態の調整を行っている。	施設全体で栄養士による嗜好調査を行い、メニューに反映しているほか、事業所として外食を企画したりバーベキューの実施、おやつ作りを行うなど、利用者が食事を楽しめるための工夫を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態を個人にあったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保に努めている。水分摂取もこまめに提供することで摂取量の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり口腔ケアの声掛け、促しを行い実施している。自分で口腔ケアが困難な方には職員が介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、夜間とその方に合わせたトイレ誘導を行い、リハビリパンツ・尿とりパットへの失敗の軽減に努めている。またトイレ誘導時には蒸しタオルでの清拭を行い、気持ちよく排泄していたできるよう心掛けている。</p>	<p>職員がこまめにトイレ誘導を行うことでリハビリパンツや尿取りパットの使用量の軽減に取り組んでいる。また、トイレ利用時には蒸しタオルでの清拭を行い、皮膚を清潔に保っている。オムツを利用している利用者はおらず、布パンツを着用されている利用者もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々、ラジオ体操やリハビリ体操、施設敷地内の散歩等の運動を行い、水分補給にも気を付けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、部署の生活支援に沿って、行事等との調整を行いながらゆっくりと楽しんでもらえるよう入浴していただいている。</p>	<p>利用者は週2回の入浴時、ゆっくりと自分のペースで入浴できるよう職員が配慮を行っている。入浴後に保湿剤を塗って乾燥を防いだり、入浴剤や柚子湯などの工夫で利用者に気持ちよく入浴してもらう工夫を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>利用者様の生活リズムを尊重し ながら散歩や体操等を通じて心 地よい疲労感を感じていただけ るよう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個人の服薬ファイルを作成し、 職員全員が目を通すことで意 識を高め、服薬に対する認識を きちんと持つよう努めている。 状態に応じて、職員間で話し 合い、必要に応じて看護師に 指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの能力や今までの 生活歴等を参考にしながら役割 を見つけ、楽しみながら生活で きるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>事業所の裏庭には季節に合わ せた菜園や花づくりができる よう整備し、一緒に取り組める よう配慮している。また、ご 家族と一緒に出掛ける外出行 事や地域行事の際には地域住 民と一緒に出掛けるなど支援 している。</p>	<p>事業所の裏庭で季節の花や野 菜を育てたり、近所への散歩 、ドライブや外食などの外出 行事の実施、近隣の公民館 で行われる女性会への参加 など、地域の中に外出できる 取り組みを行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>本人やご家族の希望があれば 支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( A棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人やご家族の希望があれば支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間は1日に3回、利用者様とともに清掃を行い、清潔を保つようにしている。ホールには外出行事の記念写真を置き、毎日の生活活動の制作等を飾るなどし、利用者様の安らげる場所づくりを心掛けている。	共有空間の掃除を利用者と職員が共に行い、清潔な空間を利用者と共に作り出すよう努めている。また、高い天井は開放感があり、天井から採光があることで、より広々としている。また、仏壇の設置や外出時の写真を貼るなどし、利用者が落ち着いて楽しめる空間を作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設け、利用者様同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は本人やご家族と相談しながら、在宅等で使用されていた馴染みのものを持ち込んでいただく等して本人が安心して過ごせる居心地のよい部屋となるよう工夫、協力している。	居室には広い収納があるほか、洗面台が各部屋にあることで清潔な状態を維持している。利用者は馴染みの家具を持ち込むことができ、落ち着いて過ごせるような配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で情報共有し、サービス向上に努めている。		

V アウトカム項目( A棟 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、部署目標に基づき利用者処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。またミーティングや申し送り時に必ず確認するようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には職員と一緒に参加している。春には施設主導のさくら祭りを開催し、地域の方にもご協力いただくことで地域の方との交流の場として開放している。また、夏や秋に地域の祭りがあり参加していただき利用者様と地域の方と交流を持てるよう配慮している。その他、法人内の保育園や近隣の保育園から交流会という形で交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、全利用者様に参加をしていただいております。地域の方との会話の中で理解を得ている。地域の民生委員や振興会役員の方にも参加していただくことで情報交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年4回定期的に開催している。前回会議からの3か月間の出来事などを報告し、今後のサービス向上のために意見交換をしている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議を通じて事業所の実績やサービスの取組み等定期的に情報交換を行っており連携、質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・玄関の施錠は行っていない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段より職員が虐待について勉強し、個々の意識を高め、利用者様が安心して生活できるよう心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。又必要な方には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明、納得の上同意を得ている。また、サービス内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場でも説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議だけでなく家族会などを定期的で開催することで、利用者様ご家族からの意見を伺えるように機会を設けている。また、要望や苦情受付の連絡先を掲示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時対応している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、法人全体としてノーリフティングケアを推奨し、腰痛予防に努める等、職員が働きやすい環境を目指している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外への研修参加の機会を設けており業務改善に努めている。新人職員については、OJTによる育成も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用開始前に本人と家族・職員を含めた事前面接を行い、要望や不安な点等を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲みとり納得していただけるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用開始前の事前面接を通して、本人・ご家族と話し合いの場を設けることで不安を取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き思いを知る努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に添えるよう努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	毎日の生活において、本人の生活歴を通し、個人個人に合った役割や得意な分野を見出すことで、それぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族会や運営推進会議を定期的に開催することで利用者様の近況報告を行っている。外出等に関しては、家族の理解を得ながら関係を保っている。また、定期的なカンファレンスに家族を招き、利用者様の現状報告を行うことで、一緒に今後の生活を考えていただく機会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	施設関係者以外の来園に対しての受け入れを行っている。また、地域の祭りへの参加や施設内での祭りなどの行事にも地域の方に参加していただくことで馴染みのある方との交流を支援している。		

自己評価	外部評価	項 目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活や行事、外出を通して交流を持ち、仲間としての意識や関わりを持つ機会が持てるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も退所後の受け入れ先等の相談や調整を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活において、本人の希望や意向を把握するために関わりを持つことで、本人への理解を深め、本人に合った生活環境の提供ができるよう検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人やご家族との面談を通して、これまでの生活歴やサービス利用歴などの把握を行うようにしている。しかし、核家族化によって連絡が取りづらい、キーパーソンが利用者様のこれまでの経過を知らない等の現状もあり情報不足の点もある。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人個人の票を作成し、生活面での注意点・趣味・パーソナリティの把握に努め、情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員の意見や、気づきなどを日々記録し、ご家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個々の生活状況を記録している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存のサービスに捉われることなく、本人の状態の変化などにも合わせた、個々のニーズに対応する柔軟なサービス提供を心掛けている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事に参加したり、地域の方との交流会を持ち、利用者様が生き生きと生活していただけるよう支援に努めている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者様・ご家族の希望を重視し、適切な医療機関に受診していただけるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の状態を確認し報告している。服薬や日々の健康管理に気を配り連携を図っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	随時、病院関係者と連携を行っている。また、退院調整や退院前カンファレンスなどを相談員中心に行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医の指示のもと本人、ご家族、職員とで話し合いを行っている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けをするよう心掛けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練を実施しており、小原地域の自主防災訓練にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないよう配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人自ら行動し、意思決定できるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせた暮らしが送れるよう、その人らしい生活の支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃれを出来るだけ提供するよう心掛け支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては、利用者様に嗜好調査を実施している。食事の準備や後片付けはお手伝いいただきながら一緒に関わりを持っている。その他、利用者様の嚥下状態に合わせて、食形態の調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態を個人にあったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保に努めている。水分摂取もこまめに提供することで摂取量の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり口腔ケアの声掛け、促しを行い実施している。自分で口腔ケアが困難な方には職員が介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、夜間とその方に合わせたトイレ誘導を行い、リハビリパンツ・尿とりパットへの失敗の軽減に努めている。またトイレ誘導時には蒸しタオルでの清拭を行い、気持ちよく排泄していただけるよう心掛けている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々、ラジオ体操やリハビリ体操、施設敷地内の散歩等の運動を行い、水分補給にも気を付けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、部署の生活支援に沿って、行事等との調整を行いながらゆっくと楽しんでいただけるよう入浴していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b>  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の生活リズムを尊重しながら散歩や体操等を通じて心地よい疲労感を感じていただけるよう配慮している。		
47		<b>○服薬支援</b>  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人の服薬ファイルを作成し、職員全員が目を通すことで意識を高め、服薬に対する認識をきちんと持つよう努めている。状態に応じて、職員間で話し合い、必要に応じて看護師に指示を仰いでいる。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b>  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの能力や今までの生活歴等を参考にしながら役割を見つけ、楽しみながら生活できるよう支援している。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b>  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	事業所の裏庭には季節に合わせた菜園や花づくりができるよう整備し、一緒に取り組めるよう配慮している。また、ご家族と一緒に出掛ける外出行事や地域行事の際には地域住民と一緒に出掛けるなど支援している。		
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b>  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人やご家族の希望があれば支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目( B棟 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人やご家族の希望があれば支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間は1日に3回、利用者様とともに清掃を行い、清潔を保つようにしている。ホールには外出行事の記念写真を置き、毎日の生活活動の制作等を飾るなどし、利用者様の安らげる場所づくりを心掛けている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設け、利用者様同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は本人やご家族と相談しながら、在宅等で使用されていた馴染みのものを持ち込んでいただく等して本人が安心して過ごせる居心地のよい部屋となるよう工夫、協力している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で情報共有し、サービス向上に努めている。		

V アウトカム項目( B棟 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム甲田

作成日 令和1年10月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自然災害に伴う防災訓練や防犯訓練など、GH独自に取り組む必要がある。	GHを中心とし、他事業所や地域と協力し、災害時等の対応方法を検討していく。	防災訓練や防犯訓練を実施し、対応方法について、検討する機会とする。	6ヶ月
2	14	関連事業所との研修会や交換実習、意見交換を行っているが、より同事業所と密に交流や研修会を行っていききたい。	法人内の同事業所に対して交流会や研修会の場を設ける。	同事業所の運営推進会議への参加や合同行事を計画する。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。